

新型コロナウイルス感染症に伴う 4 月 4 日以降の対応 補足

第 6 地区地区長司祭 小野寺洋一

新型コロナウイルスによる感染症の拡大と重篤な症例が報告が相次ぎ、世界各地で公開のミサなど教会活動の中止が決められています。東北地方は幸いなことに、少数の感染に留まっておりましたが、この 1 週間で、増える兆候にあり、大変心配しております。さらに、日本全国で考えれば、一向に感染者の増加に歯止めが掛からないどころか、都市部では増加の一途を辿っています。この状況を勘案して、基本的に 4 月 4 日以降の対応の仙台教区カテドラル元寺小路教会での外国語のミサを、一旦休止することと致しましたので、具体的な対策をお願いいたします。

1. 4 月 4 日（土）から無期限で、外国語のミサ（午後 2 時）を行わないこととします。主日のミサの義務は免除されます。各自で、その日の朗読箇所などを読み、祈るようにして下さい。
2. ただし、主日ミサの聖体拝領を望む方のために、司祭が第 6 地区内のカテドラル、他の小教区において聖体の授与を致しますので、カテドラル、他の小教区のミサ開始時間から 1 時間の間に聖体拝領を行って下さい。お願い致します。

今回の決定は、地区内司祭で話し合いの上で決議しました。

※今後のことは状況を見た上で判断し、ミサを再開時期をあらためて通知致します。